東京オリンピック・パラリンピック ホストタウン情報

2020年9月にリベリア共和国大使館とホストタウンパートナーシップ協定を締結し、10月にリベリア共和国のホストタウンに登録されました。リベリアの選手や国民の応援・交流を通じ、SDGsについてできることを考え行動しましょう。

問 スポーツ振興課☎33－8855

オンライン激励会～選手団へのエール～

7月24日、東京の選手村とリベリア大使館、多目的屋内運動場をオンラインでつなぎ、選手団の激励会を開催しました。選手団と大使館関係者11人に向けて、多目的屋内運動場から117人がエールを送りました。

〈ジョセフ・ファンブレー選手のメッセージ〉

私たちを受け入れ応援してくださりありがとうございます。努力と献身があったからこそ、ここまで来られたと思うととても意味のあることだと思います。このような大舞台に立つことができるというこの気持ちは何物にも代えがたいものです。

▶男子200m決勝出場5位入賞

・エボニー・モリソン選手▶女子100mハードル準決勝出場
・エマニュエル・マタディ選手▶男子100m出場

◀精一杯のチアダンスでエールを送ったジャングルキッズ

▲左から、リベリア共和国国歌斉唱、仁賀保高校生徒会長・木内芽空さんのリベリアの言葉で送るエール、釜ケ台番楽保存会による安全祈願の舞

オンライン交流会～競技を終えた選手団と～

8月5日、競技を終えた選手団と大使館関係者9人が、にかほ市会場の50人と大会のエピソードなどを交え和やかなオンライン交流を行いました。

▲選手団の皆さんは、サンキューと言いながら耳を傾けてくれました

〈S・アーメド・トゥクパー団長のメッセージ〉

リベリア国家を練習してくれた方々をはじめ、文化的プログラムを楽しませてくれたにかほ市の学生・市民の皆さんのおもてなし、そして手作りのお土産をいただき感謝申し上げます。このような交流がオリンピックにとどまらず続くことを祈っています。東京を離れても、にかほ市は私たちにとって思い出深い場所であり続けることでしょう。

パラリンピック採火式～迎え火からパラ聖火へ～

8月12日、象潟海水浴場でパラリンピック採火式が行われました。お盆の伝統行事・迎え火から採火したのは、障がい者スポーツに取り組んでいる皆さん。本市の「にかほっ灯（とう）・彩（いろどり）の火（ひ）」のほか県内各地でも集火し、全国の火とともに東京で行われる集火式で統合され、東京2020パラリンピック聖火となりました。

◀彩の火を持つ伊藤さんと市川市長

◀障がい者スポーツに取り組む皆さんと2020のキャンドル

東京2020大会ホストタウンパートナーシップ協定　2020 TOKYO GAMES HOST TOWN PARTNERSHIP AGREEMENT

にかほっぺんのにかほ紹介！

第27回

絵・板垣奈々

N-cafe

NIKAHO HIGH SCHOOL-COOKING CLUB

一材料一 ※2人分

【ラムネわらび餅】
・片栗粉……40g
・砂糖……40g
・サイダー…200cc
・かき氷シロップ ブルーハワイ …小さじ1/2

【ミルクわらび餅】
・片栗粉……35g
・砂糖……20g
・牛乳……250cc

片栗粉で作る♪ vol.10

ラムネわらび餅&ミルクわらび餅

※写真はラムネわらび餅

ボリューム満天のわらび餅いかがっすか!?

一作り方一

①それぞれ、鍋にすべての材料を入れて混ぜる。
②中火（ミルクは弱火）で熱し、混ぜながら加熱する。
③透明になってきたら火から下ろし、30秒程混ぜる。
④氷水の中に入れて冷やし、一口大にちぎる。
⑤水気を切って盛り付ける。
※かき氷シロップのいちごも使うと、混色を楽しめます。ミルクわらび餅は、お月見団子風に盛り付けきな粉とメープルシロップをかけても美味しいです。

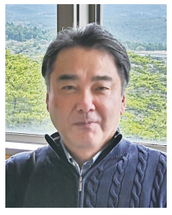
レシピ・撮影協力：仁賀保高等学校クッキングクラブ（NCC）

鳥海山・飛島ジオパーク

鳥海山・飛島ジオパークリレーコラム

～日本海と大地がつくる水と命の循環～ vol.81

『4市町の“つながり”を防災に』



NHK放送文化研究所（日本ジオパーク委員会委員、環境学博士）
主任研究員 **山口 勝** 氏

2020年秋、日本ジオパーク委員として鳥海山・飛島ジオパークの再認定調査を担当しました。他のジオパークのお手本になる数々の取り組みに感動するとともに、山形・秋田両県にまたがる（にもかかわらず）、4市町の連携がとても良いことに驚きました。連携の秘密はどこに？4人の首長さんとの面談の場で、率直に伺ってみました。

するとその秘密は「防災で、つながる力」にあることが分かりました。鳥海火山の防災対策をすすめようと国交省のヘリコプターで4市町長が一緒に視察した結果、この地域の防災力を高めるためにジオパーク活動に取り組むことにしたそうです。首長同士、自治体同士、住民同士が、つながることで防災力を高めようというのです。

災害が相次いでいます。2020年、最上川が氾濫、領域内には日本海東縁変動帯、庄内平野東縁断層帯があり、2019年、山形沖地震で津波注意報も出ました。新型コロナ感染症で注目されたダイヤモンドプリンセス号が2018年、酒田港に入港。38人がジオツアーに参加していました。ジオパークと防災・危機管理部門の連携が今こそ必要です。

“つながり”を世界に広げようとユネスコ世界ジオパークを目指すことになった鳥海山・飛島ジオパーク。今一度、「つながる力を防災に！」期待しています。

▲再認定調査の様子